

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス ココロ		公表日 2025年 2月 1日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	体を動かしたり行事の活動したりするにはスペースが狭いので公共施設や屋外施設を積極的に使っている。	個別対応の活動スペースが少ない
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	利用児のその時の状況に合わせて職員配置を行っている。	パート職員が多いため、休校日の職員配置に余裕がない
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	個々の必要性に応じて対応している。	玄関周りに高低差があるのでバリアフリー化を進めたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	営業時間終了後に清掃を毎日行っている。必要に応じて随時環境の整備を行っている。	おもちゃの出し入れの仕方が適正か検討したい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	カームダウンルームを作った。	同時に個室が必要になった場合に対応が難しい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	毎月の支援会議に職員全員で行うようにしている。	パート職員が多いため、月に1回以上は出来ない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	毎年行っている。	意見等あれば必ず検討して改善策を取っている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	必要に応じて管理者との面談の機会を作っている。	意見等あれば必ず検討して改善策を取っている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	/	/	第三者による外部評価は行っていない。	必要に応じて対応したい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	毎月最低1回は内部研修を行っている。外部研修も推奨して管理者が研修の受講を促している。	外部研修の受講は特定の職員に偏っているので全員受けられるよう働きかけをしたい。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	ホームページに掲載している。	ホームページは見ない方もいるのでお便りでもお知らせしたい。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	偏らないように、個別担当者と児童発達支援管理責任者がそれぞれアセスメントを行っている。	支援計画が明確になるアセスメントシートを作りたい。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	全職員が参加する支援会議を行っている。	支援の理解に差があり発言者に偏りがあるので全体のスキルアップが必要。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	1	全職員が支援会議に参加して計画の内容を共有している。	担当者により個人差があるので支援体制の見直しが必要。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	発達を支えるアセスメントシートを使用している。	支援者のスキルに関わらず計画に落とし込みやすいアセスメント方法を確立したい。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	5領域を踏まえた支援内容の設定が出来ていると思う。	「地域支援・地域連携」について子どもの支援に必要な支援内容の項目を検討したい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	それぞれにアイデアを出してプログラム作成をしている。	職員間で意見を出す人と出さない人の差がある。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	行事等の企画を職員がローテーションで行い固定化しないようにしている。	個人差がある。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	こどもの状況に対応している。	こどもの状況を把握した担当者が支援に関わることは限らない。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	支援開始前に必ずミーティングを行い確認している。	勤務体制やお迎え時間により、全員一斉に行うのが難しい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	3	記録に残し、翌日のミーティング時に行っている。	パート職員は勤務体制的に難しい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	記録は必ず残している。	支援の検証・改善につなげるため、記録内容について検討が必要。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	最低6ヶ月に1回モニタリングを行い支援会議で見直しを行っている。	週5回通所の場合と週1回通所の場合での短期目標の設定が難しい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	0	「自立」「創作」「地域交流」「余暇」を組み合わせて支援を行っている。	「地域交流」は今後どうしていくか検討が必要。地域で仕事をしている保護者に協力依頼を検討中。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	余暇活動などを選択肢から選べるようにしている。	選択肢が増やせるよう体験の幅を広げたい。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	児童発達支援管理責任者と必要に応じて個別担当者が参加している。	勤務体制によりパート職員が参加できない。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	保護者や相談員を介して連携を図っている。	自立支援協議会で体制を整えて欲しい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	必要に応じて学校と連絡を取り情報共有している。学校と連携が取れるよう保護者にも協力して頂いている。	先生により対応に変動があるので臨機応変に対応が必要。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	0	児童発達支援事業所を通じて情報共有を行っている。	特に大きな課題はない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	0	必要に応じて情報提供を行っている。移行した事業所に訪問してその後の様子を確認している。	卒業後も様子について情報共有を図り交流の機会が欲しい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	0	相談員を通じて連携を図っている。	現在のところ研修は受けていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	7	公共施設や屋外施設利用時に交流する機会がある。	児童クラブや児童館との交流は出来ない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9	0	毎月または隔月参加している。	事業所間の繋がりが出来てきているので交流活動が出来ればと思う。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	活動の様子を写真や動画などで確認して頂いている。	課題についての共通理解は個人差があると思う。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	保護者が興味のある内容の子育て講座を企画して参加を促している。研修等の情報を書面でお渡しまたは掲示して提供している。	研修の日程を希望者全員に合わせるの難しいので個別対応もしている。
関	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	必要に応じて面談時に行っている。	運営規定については変更がない限りご契約時のみの説明なので必要に応じて対応したい。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	年2回の面談時または必要に応じて随時保護者と話す時間を作っている。	こどもの意向を汲み取り計画に反映させるのに時間が必要。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	同意後サインを頂いている。	引き続き支援内容に疑問点がないか確認して同意を頂くようにしたい。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	児童発達支援管理責任者が必要に応じて随時行っている。	職員のスキルアップが必要と感じる。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	2	子育て講座の開催や家族で楽しめる行事を行っている。	家族で交流する機会は設けているがきょうだいだけで交流する機会は設けていない。保護者の意向を確認して今後企画したい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	苦情受付窓口を設置してご契約時に説明している。	現在まで特に苦情は出ていないが、苦情が出しにくい体制ではないか検討する。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	ホームページに日頃の活動の写真を載せている。不定期でお便りを出している。	連絡体制をスムーズにできるよう検討中。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	職員に周知を図っている。行事の際、保護者へも注意喚起している。	引き続き職員や保護者に周知を促していく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	個別に対応している。	配慮をしているつもりにならないよう職員間での共通理解、共通対応を心がけたい。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	3	地域住民を招待する行事は出来ていないが、地域の施設を利用して行事を行っている。	スペース的に難しいが今後交流スペースの確保を検討している。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	定期的に訓練を行っている。	訓練をした際は毎回お便りを出すなどして家族への周知を図りたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	定期的に訓練を行っている。	訓練をした際は毎回お便りを出すなどして家族への周知を図りたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	連絡帳等で保護者と情報共有できている。	てんかんの発作時の対応が職員全員が確実に出来るよう引き続き研修等行いたい。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	/	/	対象者がいない。	対象者がいる際は、保護者と情報共有してしっかりと対応していきたい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	研修や訓練を行っている。	安全管理について職員間で共通理解を図りたい。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	訓練内容等おたよりでお知らせしている。	お便りやホームページでお知らせしても周知されない場合は個別に口頭でお知らせする対応も検討する。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	ヒヤリハットがあれば記録し回覧して方策の検討を行っている。	ヒヤリハットが続く時があるので起こる前に定期的に注意喚起が必要。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	定期的に研修を行っている。	職員間でマンネリ化しないよう研修を企画したい。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	現在対象者がいない。	身体拘束についての知識を職員に広める。	